

年 組 名前:

問1

しょう わ ちょう おしはらしょう なつやす
昭和町の押原小は、夏休み
げんてい おしもり こ
限定で、「押杜っ子クラブ」を
ひら
開いています。どんなテーマの
こうざ
講座がありましたか。

.....

.....

問2

たみ こうざ さんか しどう
畳の講座に参加した児童は、
なに つく
何を作りましたか。

.....

問3

おしもり こ
今年の「押杜っ子クラブ」には、
みっかかん なんにん しどう さんか
3日間で、何人の児童が参加
しましたか。

.....

問4

あなたなら、どんな講座に参加してみたいですか。その理由も教えてください。

・講座:

・理由:

昭和・押原小 夏休みに多彩な体験講座



畳の端材を使った工作をする児童と講師を務める昭和政博社長



(25)

児童の成長 地域が見守り

昭和・押原小は地域住民が学
校運営に加わる「コミュニティ
ースクール（CS）」の活動の
一環で毎年、夏休み限定企画と
して、児童の体験機会「押杜っ
子クラブ」を開いている。

住民らが講師となり、水泳やタ
ンス、写真や日本文化体験など、
多彩なテーマの講座を展開して
いる。

児童は畳の端材を使ったお
りやコースター作りにも挑戦。
塩沢社長は「仕事を知ってもら
う願ってもない機会。子どもの

＝昭和・押原小

- ・所在地 昭和町押越885
- ・全校児童 387人
- ・創立年月日 1884年10月11日
- ・学校教育目標
ともに学び合い心豊かに
たくましく生きる子ども
の育成

「草の香りがする」「イ草つ
て丈夫だね」。7月末に開かれ
たクラブの「日本文化（畳）」
の講座。学校近くに店を構える
塩沢畳店の塩沢政博社長は、手
縫いで仕上げた畳を披露した。
「畳は日本にしかないもの。歴
史や特徴に興味を持ってほし

成長を地域で見守れるよう、で
きることは協力したい」と話
した。
同校は2014年、CSに指
定されたことを機に地域連携を
強化。地域の力を借りて夏休み
中の子どもの居場所を確保し、
普段できない体験の機会をつく
ろうと、23年にクラブを始めた。
町内の事業所や保護者らに協力



教務主任の野呂瀬健教諭は
「子どもの意見を取り入れて講
座をアップデートし、夏休みの
居場所になればいい」と話して
いる。
＝戸松優

見せた。
「昔からの文化に興味がある。
お茶をたてたり畳の特徴を学ん
だりできてよかった」と笑顔を
見せた。

日本文化の二つの講座に参加
した三神裕一朗さん（5年）は
「昔からの文化に興味がある。
お茶をたてたり畳の特徴を学ん
だりできてよかった」と笑顔を
見せた。

を仰ぎ、これまでに学校行事を
撮影するカメラマンやスポーツ
クラブ、駿台甲府高美術デザイ
ン科の生徒らが講座を開講。保
護者からテーマについて提案を
受けることもあるという。
今年7月23～27日の間の3
日間で、プログラミングやお菓
子作りなど9講座を開講し、児
童約90人が参加した。日本文化
（茶道）の講座では、同校元教
諭の福田聖子さん（67）らが講師
となり、茶道に関するクイズを
出題。児童がお茶をたてる体験
をした。

(2026年9月5日付 山梨日日新聞 14面)